

① - 1 河道整備（災害関連事業（稗田橋～家田橋））

実施主体：袋井土木

《施策内容》

令和4年台風15号洪水を堤防満杯で流せるよう整備を実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

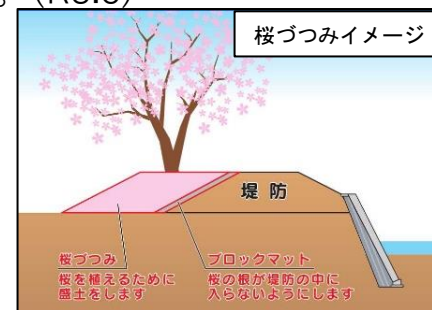
- ・稗田橋～八十田橋区間の護岸が完了した。(R7.7)
- ・決壊箇所における粘り強い化（張コンクリート）が完了した。(R7.7)
- ・八十田橋～家田橋区間の右岸に「桜づつみ」を整備した。(R8.3)

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・維持管理すべき河道流下断面の確保。
- ・出水後の河道変動の状況及び傾向の把握。

■ 令和8年度の実施予定

- ・河床掘削等の適切な対策を講じる。



1.氾濫をできるだけ防ぐための対策

【敷地川】

① - 1 河道整備（磐田工区（暫定整備 新東名下流落差工～稗田橋））

実施主体：袋井土木

《施策内容》

令和4年台風15号洪水を堤防満杯で流せるよう整備を実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

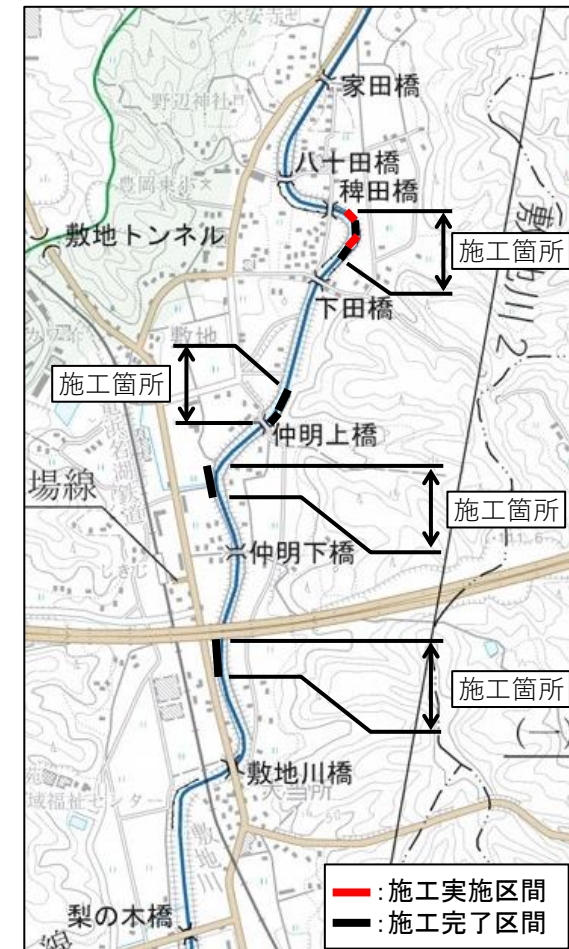
- ・被災箇所（4箇所）の護岸整備及び狭窄部(1箇所)の工事がR8.1までに完了した。
- ・令和7年度より狭窄部となっている下田橋上流と稗田橋下流の河道整備に着手。

■ 施策実施に係る課題と対応策

—

■ 令和8年度の予定

- ・引き続き、下田橋上流と稗田橋下流の河道整備（護岸整備・河道掘削）を実施する。



1. 氾濫をできるだけ防ぐための対策

【敷地川】

① - 1 河道整備（袋井工区（暫定整備 寺前橋～友永橋））

実施主体：袋井土木

《施策内容》

令和4年台風15号洪水を堤防満杯で流せるよう整備を実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ R4台風15号と同規模の洪水を堤防満杯で流下させるため、暫定整備を実施している。
- ・ 友永橋～大谷橋の護岸工・根固め工は、R7.6までに工事完了。
- ・ 宮橋～寺前橋の護岸工は、R7.7までに工事完了。

■ 施策実施に係る課題と対応策

—

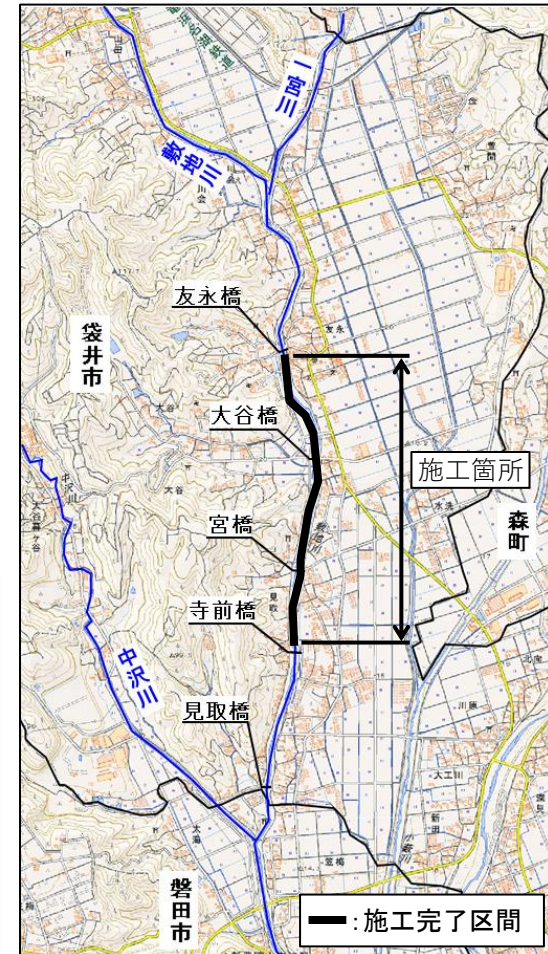
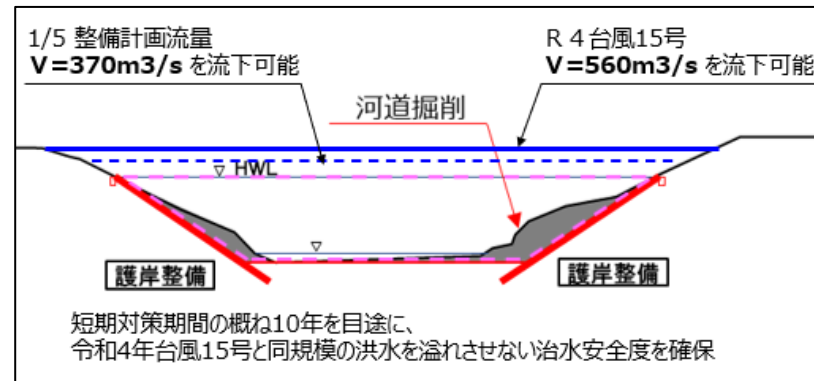
■ 令和8年度の予定

- ・ 河川管理施設における適切な維持管理に努める。

宮橋下流を上空から望む



標準断面



① - 1 河道整備（袋井工区（整備計画改修 見取橋下流））

実施主体：袋井土木

《施策内容》

河川整備計画に基づく河川整備（見取橋架け替え）を実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・見取橋下流右岸の樋門工事が完了し、引き続き、右岸の築堤工事を進めている。
- ・見取橋架け替えの詳細設計が完了。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・工事期間中における周辺住民への環境面の配慮（生活道路の確保）

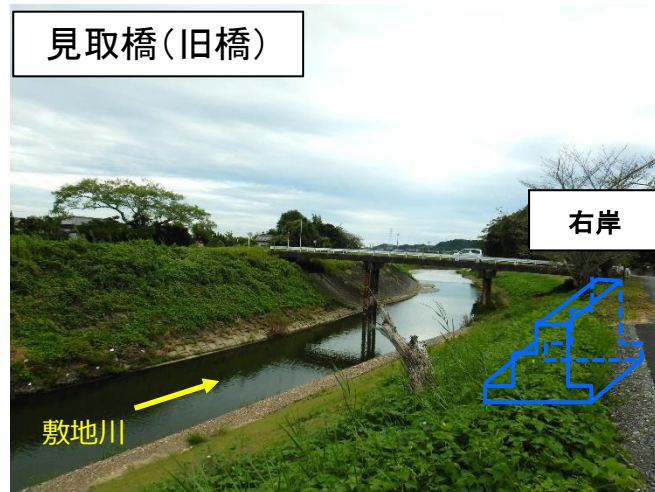
■ 令和8年度の予定

- ・用地調査、用地補償に着手する。
- ・右岸橋台工の工事発注を行う。

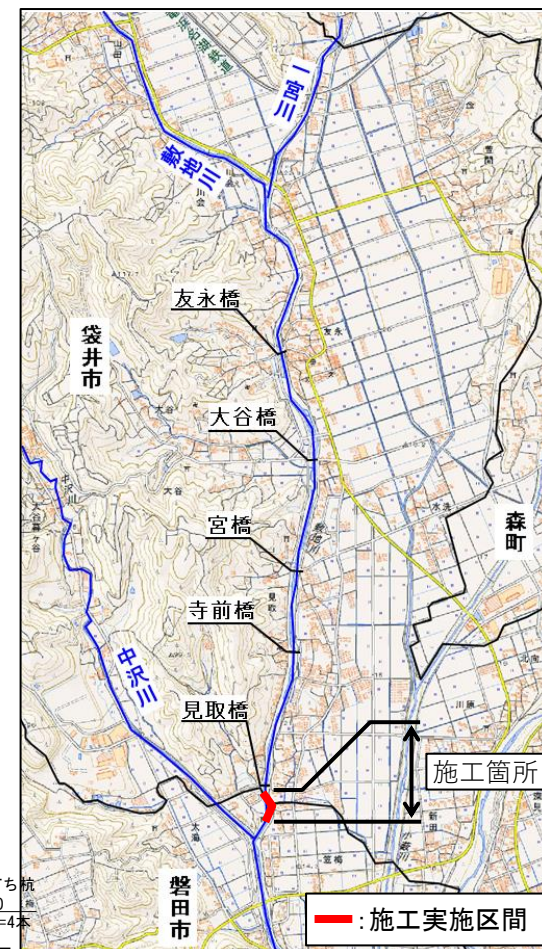
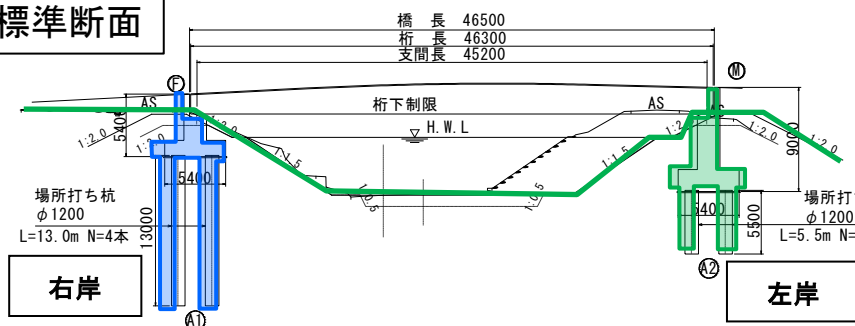
見取橋下流右岸



見取橋(旧橋)



標準断面



① - 2 堤防強化対策

実施主体：袋井土木

《施策内容》

堤防天端舗装による強化対策の実施

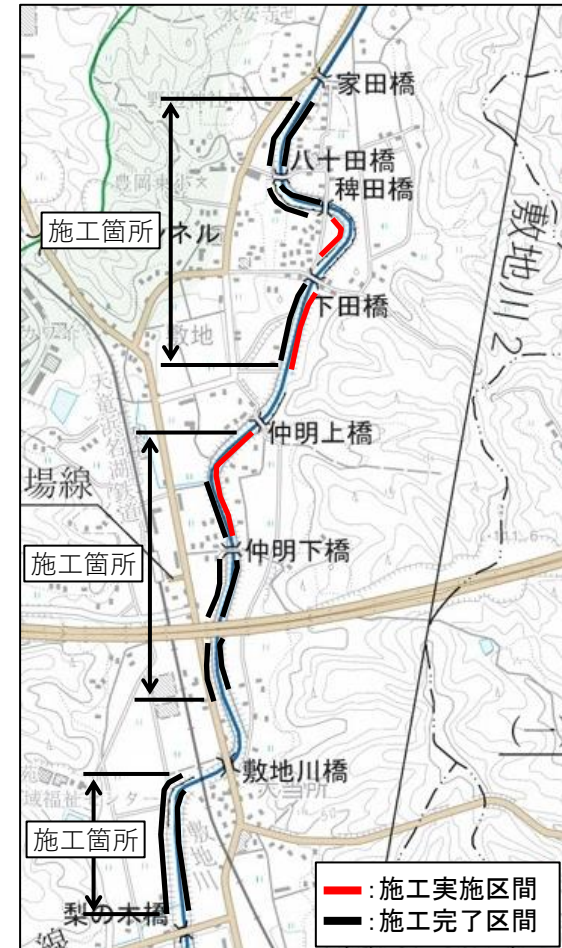
令和7年度までの進捗状況

- ・ 梨の木橋～天浜線区間、新東名下流～仲明下橋区間、仲明下橋上流右岸の天端舗装が完了。

施策実施に係る課題と対応策

令和8年度の予定

- ・ 仲明上橋～仲明下橋の左岸及び下田橋～仲明上橋の左岸の天端舗装工事を進める。



① - 3 堆積土砂の除去

実施主体：袋井土木

《施策内容》

河川や水路に堆積土砂の除去を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

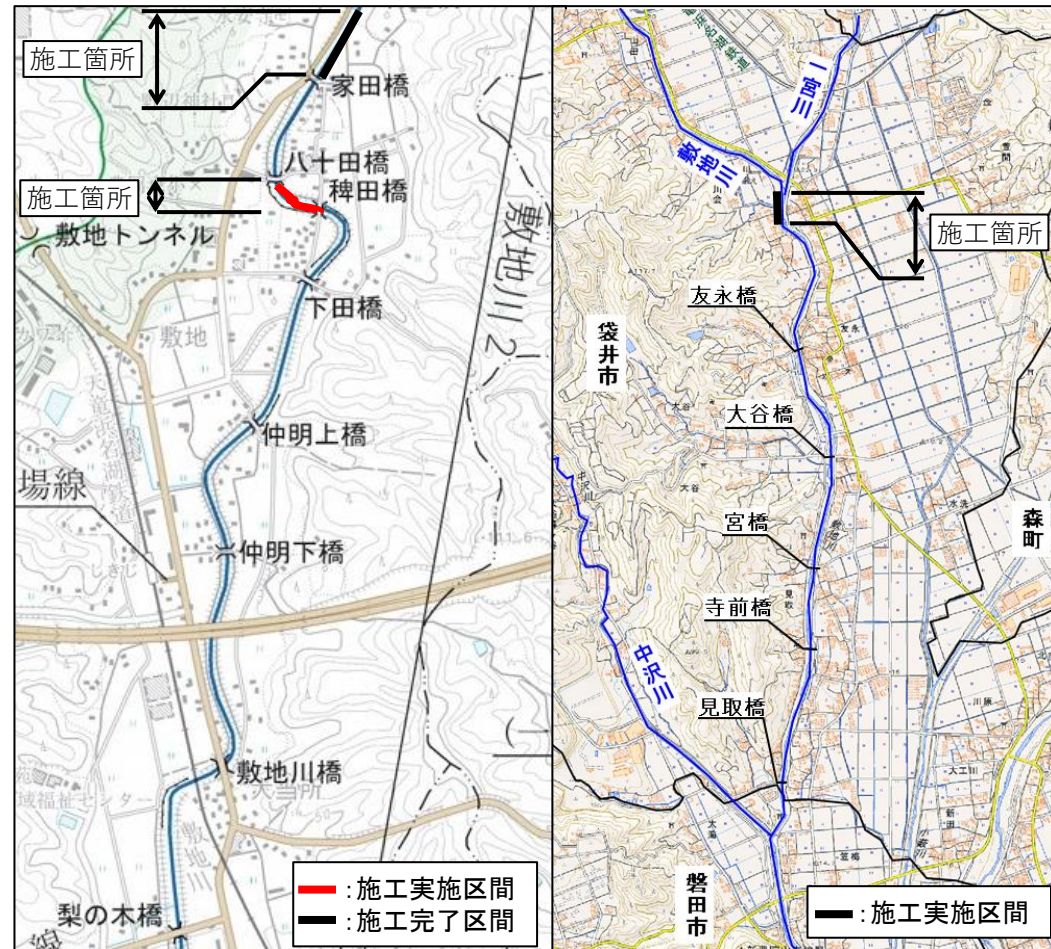
- ・ 家田橋上流の堆積土砂の除去を実施。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 維持管理すべき河道流下断面の確保。
- ・ 出水後の河道変動の状況及び傾向の把握。

■ 令和8年度の予定

- ・ 稗田橋上流から八十田橋付近の堆積土砂の除去を実施する。



① - 4 河川管理施設の計画的な維持管理・更新・整備

実施主体：袋井土木

《施策内容》

水門、樋門の的確な維持管理・更新・整備（フラップゲート化）

令和7年度までの進捗状況

- ・ 見取橋下流右岸の樋門を整備。(R6.12)
(築堤完了後、磐田市へ移管)
- ・ 磐田市敷地の2箇所の樋門の詳細設計完了。

施策実施に係る課題と対応策

- ・ 樋門工事に伴い背後の民地の借地が必要となる。

令和8年度の予定

- ・ 仮設計画における地権者との調整を進め、仲明上橋下流箇所の樋門整備を実施

仲明上橋下流右岸



① - 1 河道整備（磐田市施工箇所（下田橋））

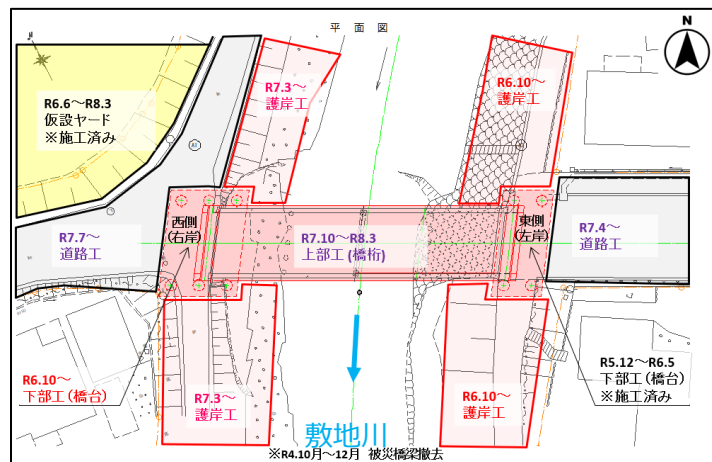
実施主体：磐田市（道路河川課）

《施策内容》

令和4年台風15号洪水を堤防満杯で流せるよう整備を実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ R6.6に左岸側橋台が完成している。
- ・ R6.10から左岸側護岸、右岸側橋台・護岸を順次施工し、R8.3に工事完成、供用開始済み。



① - 3 堆積土砂の除去

実施主体：磐田市（農林水産課、道路河川課）

《施策内容》

河川や水路に堆積土砂の除去を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・自治会等からの要望や依頼のあった水路の堆積土砂撤去を実施している。
- ・引き続き、堆積土砂の撤去を実施予定である。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・土砂の堆積状況の把握が困難である。
- ・浚渫した堆積土砂の受け入れ先が少なく、高額となっている。

■ 課題への対応方針・今後の予定

- ・引き続き、河川パトロールや自治会等からの要望・依頼により、土砂が堆積している水路の把握を行う。



工事前写真



工事後写真



① - 7 雨水の貯留機能拡大（水田貯留）

実施主体：磐田市（農林水産課）

《施策内容》

流域の貯留機能を拡大するため、一時的に水田に雨水を貯留する水田貯留を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 基盤整備や多面的機能支払交付金の説明会に合わせ、「田んぼダム」の紹介を実施した。
- ・ 向笠地区を対象に「田んぼダム」の取り組みを実施予定である。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 地権者、耕作者の理解と機運の醸成。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 「田んぼダム」の理解促進、機運醸成を行う。
- ・ 「田んぼダム」用の角落し・調整板等の支給を検討する。

多面的機能支払交付金活動組織座談会の様子

R7. 8. 19開催



田んぼダム用角落し・調整板

※実際の支給品と
異なることがあります。



① - 8 流域の雨水貯留浸透機能の向上

実施主体：磐田市（学校づくり整備課）

《施策内容》

流域の貯留機能を拡大するため、一時的に学校の校庭に雨水を貯留する施設を整備

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 向陽学府の施設整備時に雨水貯留施設を整備。

①校庭貯留調整池	調整容量	827.02m ³
②専用調整池（校庭南東プール跡地）	調整容量	422.94m ³
		計1249.96m ³

■ 施策実施に係る課題と対応策

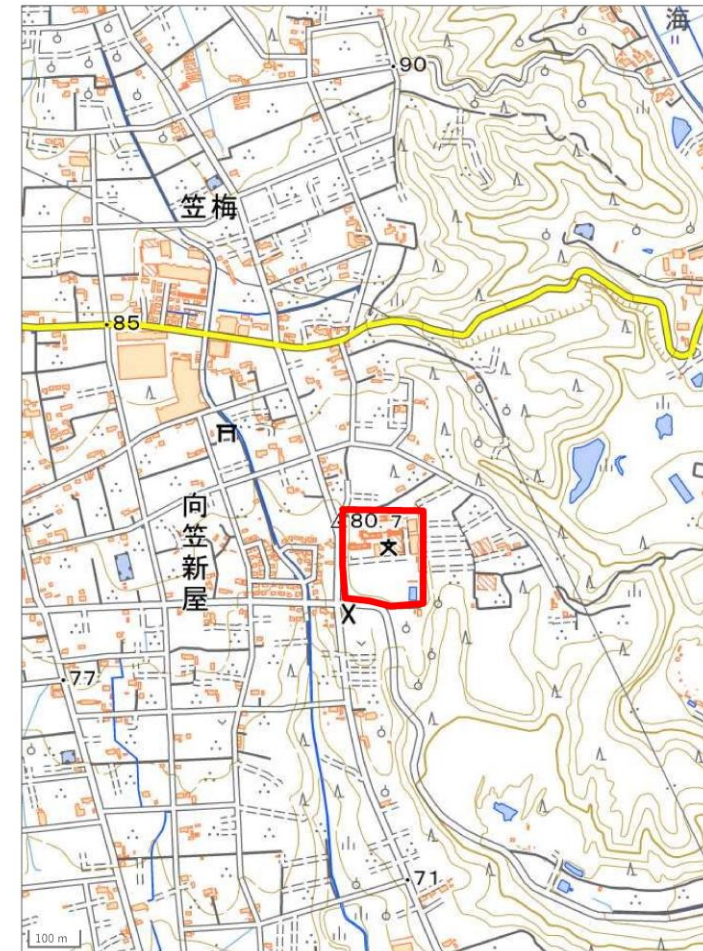
- ・ 校庭貯留を設置するにあたり、学校等関係機関との合意形成と緊密な協働体制が不可欠である。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 向陽学府の施設整備時に雨水貯留施設を設置予定

③東側駐車場兼用調整池	調整容量	264.99m ³
④北側駐車場兼用調整池	調整容量	108.66m ³
		計373.65m ³

※調整容量について変更する可能性あり



① -13 森林整備・治山事業による流出抑制対策

実施主体：磐田市（農林水産課）

《施策内容》

森林環境譲与税を活用した間伐の実施、及び危険木の撤去等を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

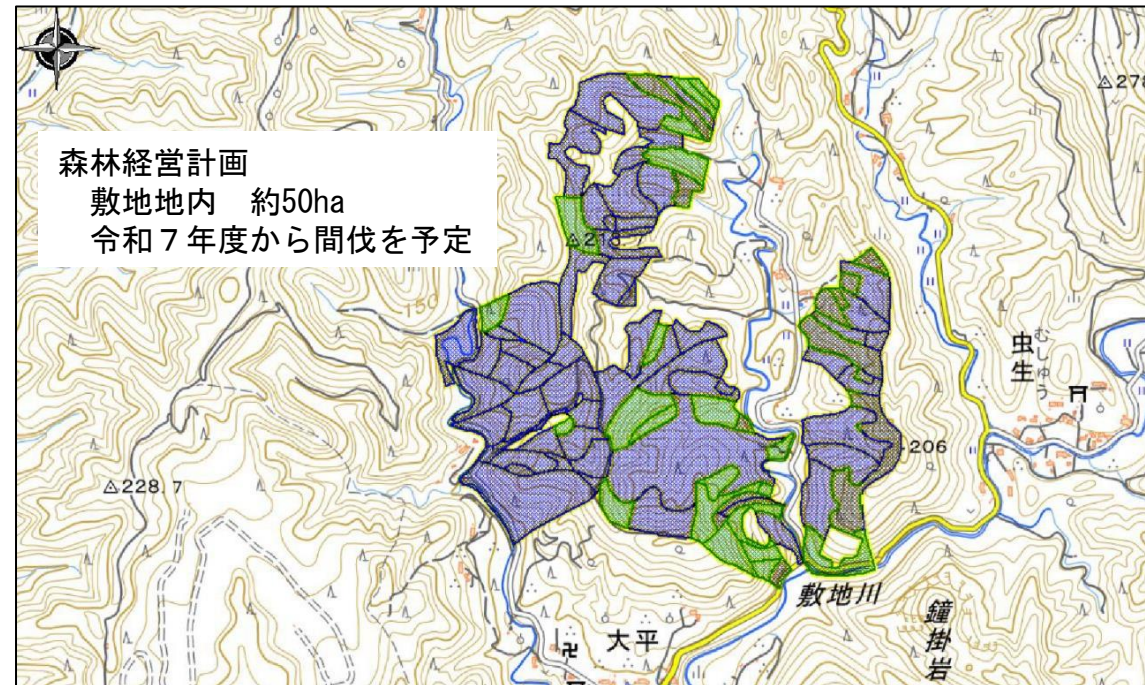
- ・万瀬地内（55.9ha）で森林経営計画の策定をし、間伐等を実施した。
- ・敷地川に流れ込んだ危険木の除去を実施した。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・森林所有者の機運醸成を行う。
- ・敷地地内（47.58ha）で森林経営計画を策定する。
- ・敷地地内等で危険木の撤去を実施予定。

■ 令和8年度の実施予定

- ・敷地地内等で危険木の撤去を実施予定。



② - 1 都市計画マスタープランの見直し

実施主体：磐田市（都市計画課）

《施策内容》

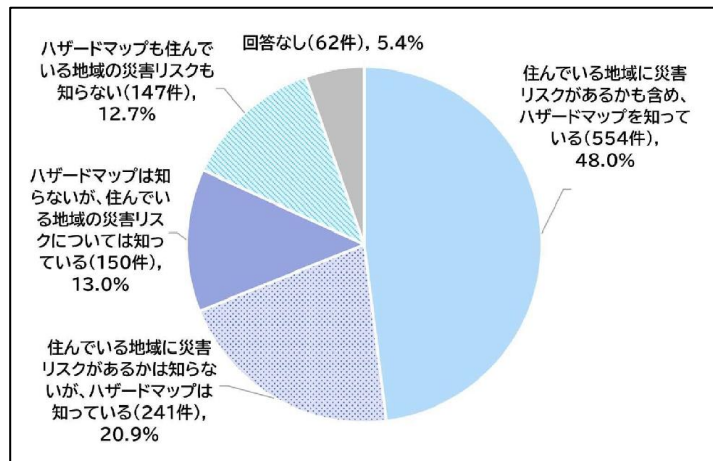
- ・都市計画マスタープラン及び防災指針を含む立地適正化計画の改定

■ 令和7年度までの進捗状況

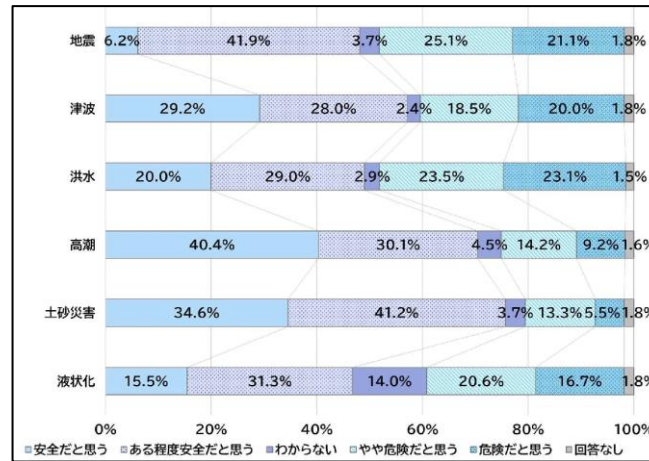
- ・都市計画マスタープランの改定に着手
- ・防災指針を含む立地適正化計画の改定に着手
- ・市民意向調査を実施し、現行のまちづくり施策に関する市民の評価等を実施

■ 令和8年度の予定

- ・都市計画マスタープラン：全体構想の策定
- ・立地適正化計画：計画本編の策定
- ・外部有識者会議等の開催



災害リスク、ハザードマップの認知度(市民意向調査)



リスクの認知度(市民意向調査)

磐田市のまちづくりに関するアンケート調査への協力をお願い

日頃から磐田市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

磐田市では、人口減少や少子高齢化が進行する中、将来にわたり、誰もが健康で快適な生活を確保し、持続可能な都市経営を推進していくために、コンパクトなまちづくりに取り組んでいます。この度は、これまでが実施してきた取組に対する評価や、今後のまちづくりについて皆様のご意見・ご意向を参考とさせていただくため、アンケート調査を行うことになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和7年12月 磐田市長 草地 博昭

◇ 回答ご記入上の注意 ◇

1. 宛名の方に本人が回答をご記入ください。
2. ご本人様がお答えいただけない場合は、ご家族の方に代筆していただいても結構です。
3. 調査票や返信用封筒（切手不要）にお名前を書いていただく必要はありません。
4. お答えいただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありません。
5. 回答は回答欄の番号に○印を、また（ ）内には具体的にお書きください。
6. 市民の皆様のお考えを市政に反映させるため、できる限り、すべての質問項目に回答していただきますよう、お願いいたします。
7. 回答の記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、**令和8年1月14日(水)までに封筒の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにお近くのポストにご投入ください。**なお、ウェブから回答する場合は、**紙の調査票を返信していただく必要はありません。**

《このアンケートはウェブからでも回答できます》

以下のURLもしくはQRコードにアクセスいただき、下記のID番号とログイン番号を入力の上、アンケートにご回答をお願いいたします。

URL
<https://forms.office.com/r/700337b33b35>

ID番号とログイン番号はウェブ回答の重複回答を防ぐためのものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れに漏れたりすることは一切ありません。

【アンケート調査に関するお問い合わせ】
磐田市 建設部 都市計画課 都市計画グループ
電話：0538-377-4997 FAX：0538-36-2459

市民意向調査
期間 R7.12.15～R8.1.30
標本数 3,045人(無作為抽出)
回収率 37.9%

③ - 3 ハザードマップなどのリスク情報の周知啓発 及び わかりやすい情報の提供

実施主体：磐田市（危機管理課、道路河川課）

《施策内容》

内水浸水想定区域図の作成と周知、洪水ハザードマップの作成と周知

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 内水浸水想定区域図を作成、公表済み
- ・ 市職員や市民活動団体による防災講座の実施。
- ・ 市民、学校、企業に対し防災講話、マイ・タイムライン、わたしの避難計画の研修及び啓発講座を実施
- ・ デジタルハザードマップの公開（R7）
- ・ 大型商業施設での防災啓発（いつものもしもCARAVAN磐田）

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 自治会活動や防災訓練に参加しない層への防災啓発。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 防災講座だけでなく、シンポジウムや講演会等の開催により、新たな切り口での啓発活動を検討。



R5 シンポジウム



R7.10.11 いつものもしもCARAVAN磐田

③ - 5 SNSを活用した情報収集・情報

実施主体：磐田市（危機管理課、広報広聴シティプロモーション課）

《施策内容》

SNS情報集約システムを使用した効果的な情報収集

L I N E やフェイスブック等のSNSを活用した情報発信

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ SNSを活用した防災情報の提供を継続的に実施する。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 情報の信頼性、取捨選択の基準、情報の有効的な発信方法の検証。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 観測データ、予測など一元化したシステムの研究。



③ - 8 地域防災力の強化

実施主体：磐田市（危機管理課、消防本部警防課）

《施策内容》

水害に関する避難訓練や防災講座の実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 水害避難訓練・出前講座を継続的に実施

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 水災害発生時のより効果的な避難行動に繋がる避難訓練の実施が必要。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 水害避難訓練の実施方法の検討。
- ・ 水害避難訓練、出前講座の継続的な実施。



令和7年度

水害避難訓練

実施のお知らせ

土砂災害と太田川の氾濫を想定した訓練を行います

自宅の災害リスクを確認しよう！

避難先は自宅の2階？自主避難場所？向笠小学校？

どこに避難しよう？

日時 8月24日(日) 9時から11時30分まで

場所 向笠小学校、自主避難場所 又は 自宅

向笠地区（笠梅・向笠新屋・向笠竹之内・向笠西・篠原・岩井）の皆さんへお願い

- ① ハザードマップで自宅の危険を確認しよう！
●●ページを確認し、自宅の浸水深と避難場所を確認してください
- ② 避難ルートを考えよう！
●●ページと別紙「向笠地区防災マップ」を確認し、避難ルートを考えましょう
- ③ 避難のタイミングを考えよう！
●●ページを確認し、避難のタイミングを確認してください
- ④ 実際に避難してみよう！
9:30 土砂災害警戒区域に「避難指示」発令
9:45 浸水想定区域に「高齢者等避難」発令
10:00 浸水想定区域に「避難指示」発令

1 磐田市危機管理課 ☎0538-37-2116

③ - 9 高台など安全な避難場所の確保

実施主体：磐田市（危機管理課）

《施策内容》

浸水から逃げるための避難場所の確保

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・避難場所の確保を継続的に実施する。
- ・企業との協定による一時避難場所の確保を実施。
- ・旧豊岡東小ランチルーム（自主避難場所）へのエアコン設置。（R7）

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・避難場所の環境整備（旧豊岡東小等）。

■ 令和8年度の実施予定

- ・引き続き企業との協定による一時避難場所の確保を行う
- ・一時避難場所の地域への周知を行う



① - 1 河道整備（準用河川中沢川）

実施主体：袋井市（土木防災課）

《施策内容》

河道拡幅や堤防嵩上げによる河川整備を実施する。

令和 7 年度までの進捗状況

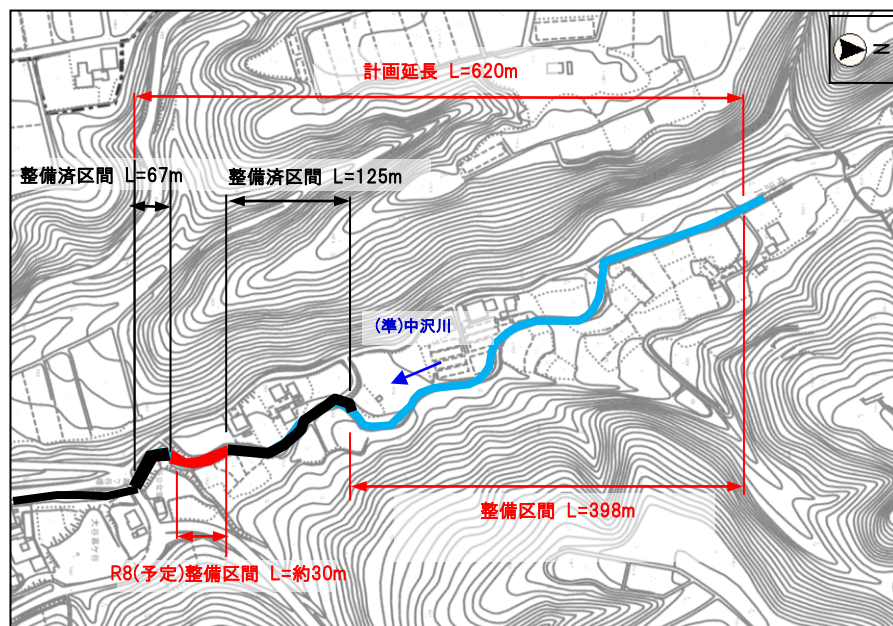
- 令和 6 年度に詳細設計を実施し、令和 7 年度は、L=33m区間の護岸整備を実施した。

施策実施に係る課題と対応策

- 令和 7 年度から工事着手し、令和10年度までの完了を目指す。

令和 8 年度の実施予定

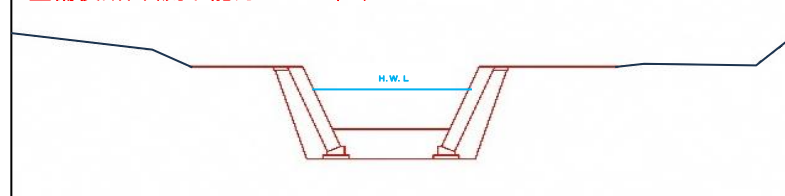
- 幕ヶ谷橋上流L=約30m区間の護岸工事を行う。



現況断面(流下能力:6 m³/s)



整備後断面(流下能力:12 m³/s)



R7整備済区間



① - 3 堆積土砂の除去

実施主体：袋井市（維持管理課、土木防災課）

《施策内容》

河川や水路に堆積土砂の除去を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 河川や水路に堆積した土砂撤去を実施した。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 出水期前に土砂の堆積状況を確認し、必要に応じて撤去を実施。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 河川や水路に堆積した土砂撤去を実施予定である。

【準用河川 中沢川】



土砂撤去前



撤去後



撤去状況

① - 4 河川管理施設の計画的な維持管理・更新・整備

実施主体：袋井市（維持管理課、土木防災課）

《施策内容》

水門、樋門の的確な維持管理・更新・整備（フラップゲート化）

樋門等施設台帳再整理

■ 令和7年度までの進捗状況

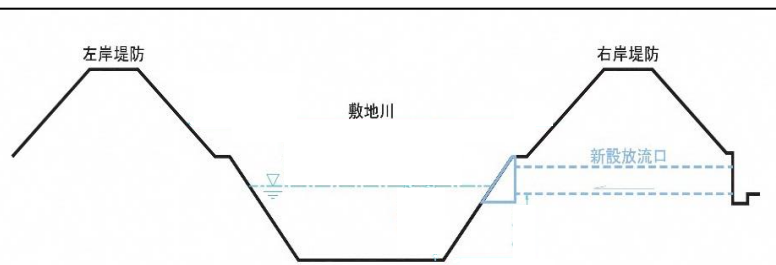
- ・川会地区樋門新設について予備設計が完了した。
- ・水門、樋門の台帳整備を実施とともに、フラップゲートの応急修繕を実施した。

■ 施策実施に係る課題と対応策

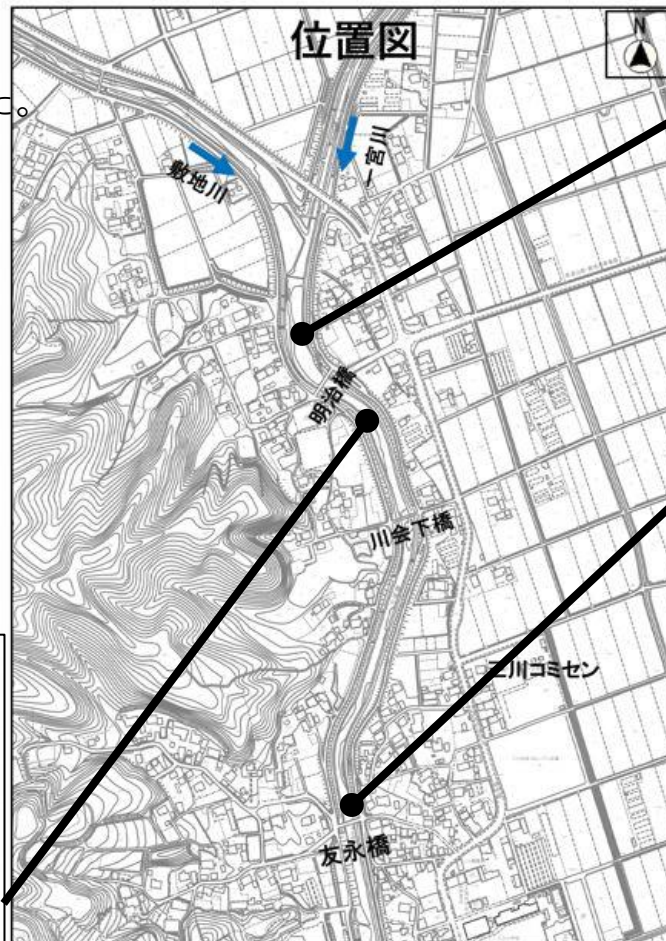
- ・フラップゲート化が必要であるが、基数が多く、時間と経費が掛かる。
- ・樋門整備工事に伴う財源確保。

■ 令和8年度の実施予定

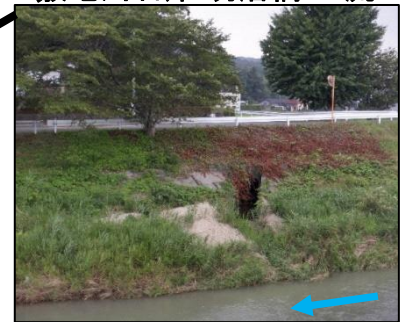
- ・川会地区樋門新設詳細設計を実施。
- ・水門、樋門の維持管理を継続的に実施する。



敷地川右岸 明治橋 下流



敷地川右岸 明治橋 上流



友永橋上流



＜R7応急修繕＞

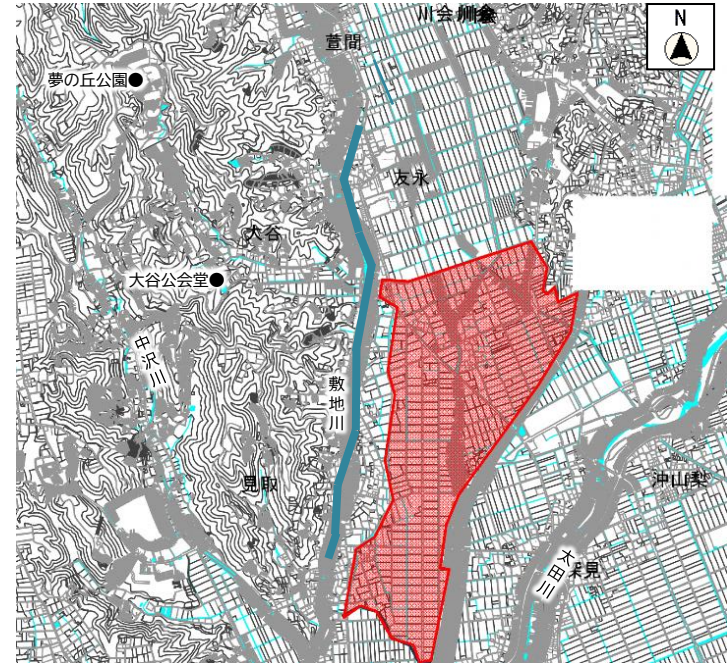
実施主体：袋井市（土木防災課、農政課）

流域の貯留機能を拡大するため、一時的に水田に雨水を貯留する水田貯留を実施

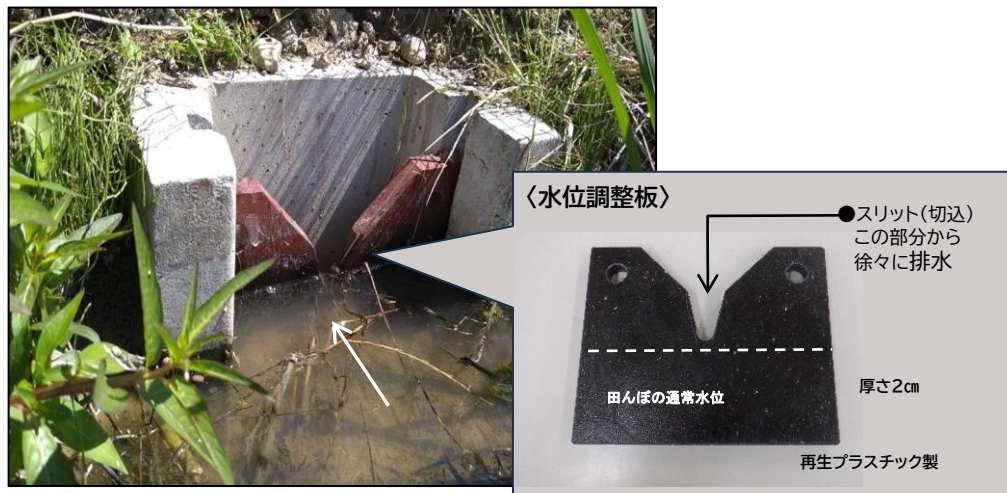
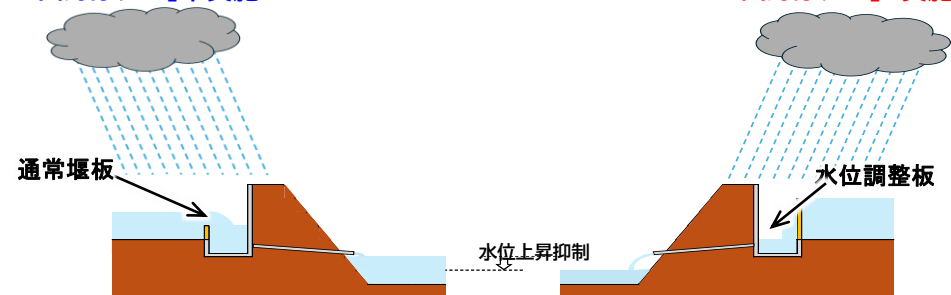
- ・三川地区の水田の地権者及び耕作者を調査。

- ・「田んぼダム」の取り組みに対する地権者
耕作者の理解と協力が必要となる。

- ・地権者・耕作者及び、地域の部農会に説明を行っていく。
- ・三川地区を対象に「田んぼダム」の取り組みを実施していく。



【令和8年度 取組実施エリア】



実施主体：袋井市（土木防災課）

流域の貯留機能を拡大するため、一時的に学校の校庭に雨水を貯留する施設を整備

・三川小学校を対象に校庭貯留施設を整備することについて学校へ説明を行った。

- ・校庭貯留施設整備の取り組みに対する関係機関の理解と協力が必要となる。

- ・三川小学校への整備に向けて、詳細設計を進める。



施工事例：今井小学校

① - 9 農業用ため池の耐震・豪雨対策

実施主体：袋井市（農政課）

《施策内容》

流域内の耐震・豪雨対策が必要なため池について、対策工事を実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・西戸ヶ谷池、新池および友永池を対象に、防災重点農業用ため池の耐震および豪雨対策工事を施工中である。
令和7年度に西戸ヶ谷池に工事着手し、令和8年度に完成予定。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ため池の水を抜き、対策工事を実施するため、受益者との連携及び協力が必要となる。

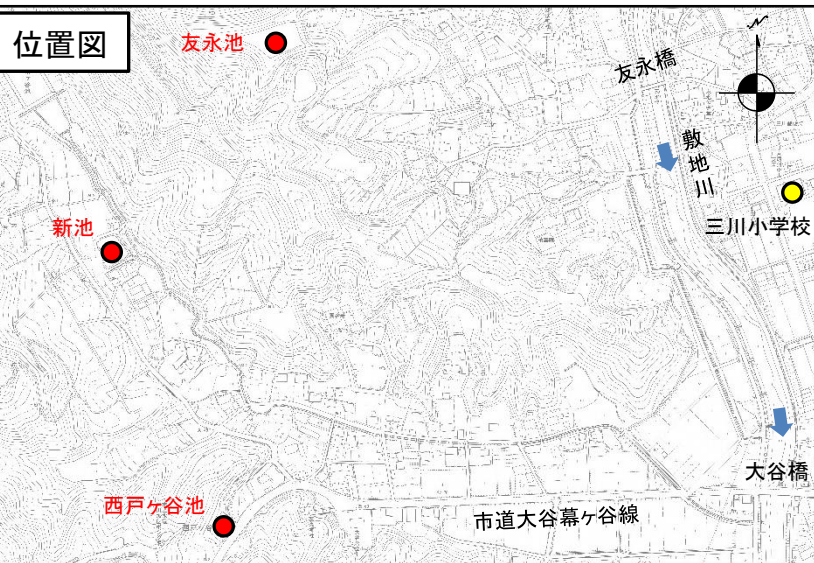
■ 令和8年度の実施予定

- ・西戸ヶ谷池の工事完了。友永池の工事着手を予定している。

	R5	R6	R7	R8	R9	R10
西戸ヶ谷池	計画	実施	工事	工事		
新池	計画	実施			工事	工事
友永池	基本	計画	実施	工事	工事	

凡例

◎：今回計画策定
基本：基本設計
計画：工事計画策定
実施：実施設計
工事：対策工事



【西戸ヶ谷池】
700立方メートル



【新池】
1,000立方メートル



【友永池】
4,000立方メートル

① -13 森林整備・治山事業による流出抑制対策

実施主体：袋井市（農政課）

《施策内容》

森林環境譲与税を活用した間伐の実施、及び危険木の撤去等を実施

令和7年度までの進捗状況

- 令和5年度から、市道大谷幕ヶ谷線沿いの森林整備（危険木伐採・間伐）を実施し、令和6年度整備完了。

施策実施に係る課題と対応策

- 私有林を整備する場合には、森林所有者や地域の協力が不可欠となる。

令和8年度の実施予定

- 定期的な危険木伐採・間伐による維持管理



② - 1 都市計画マスタープランの見直し

実施主体：袋井市（都市計画課）

《施策内容》

災害の発生状況や地域の防災体制などを勘案し、都市計画マスタープランの改定を進める。
また、改定の内容を踏まえて立地適正化計画の防災指針の検討を進める。

■ 令和7年度までの進捗状況

・ 庁内の検討組織だけでなく、庁外の有識者との検討組織での議論を重ねるとともに、市民意見交換会などを実施し、多方面からのまちづくりに対する意見をいただき、災害の発生状況や地域の防災体制などの情報を勘案しながら官民連携による流域治水や、リスクを踏まえた土地利用の規制誘導などの考えを加えた都市計画マスタープランの改定を行った。

■ 施策実施に係る課題と対応策

・ 都市計画マスタープランで定めた方針を具体的に進めていくため、立地適正化計画に防災指針を定めていく。

■ 令和8年度の実施予定

・ 都市計画マスタープランを踏まえて、立地適正化計画に位置付ける防災指針の検討を行い、計画の改定作業を進める。

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【敷地川】

③ - 3 ハザードマップなどのリスク情報の周知啓発 及び わかりやすい情報の提供

実施主体：袋井市（危機管理課、土木防災課）

《施策内容》

洪水浸水想定区域図の作成と周知、洪水ハザードマップの作成と周知

■ 令和7年度までの進捗状況

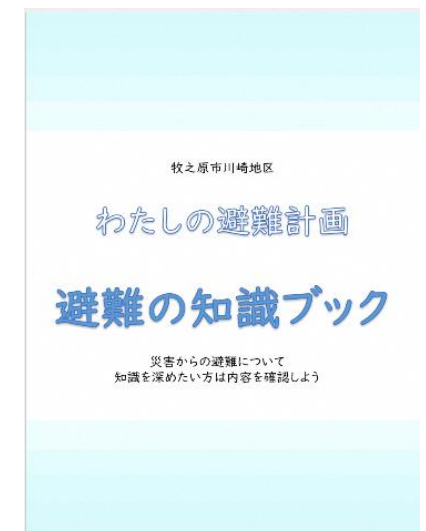
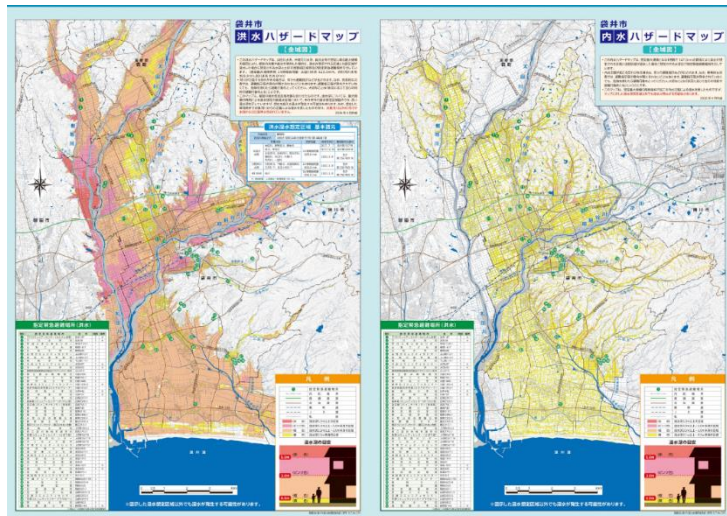
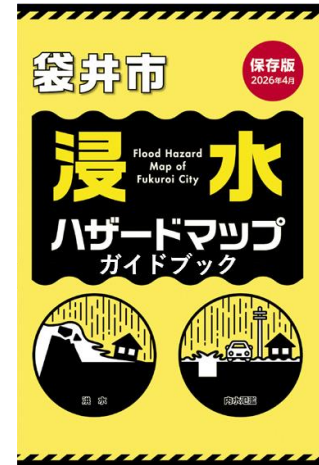
- ・洪水ハザードマップを更新し、内水ハザードマップを作成。
- ・マイ・タイムライン、「わたしの避難計画」等の啓発を継続的に実施。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・地域にあった実効性のある計画による取り組みにつなげる。

■ 令和8年度の実施予定

- ・令和8年4月にハザードマップを全戸配布するとともに地域説明会を5月～6月に実施する。



③ - 5 SNSを活用した情報収集・情報提供

実施主体：袋井市（危機管理課）

《施策内容》

SNSを活用した防災情報の提供を継続的に実施する。

■ 令和7年度までの進捗状況

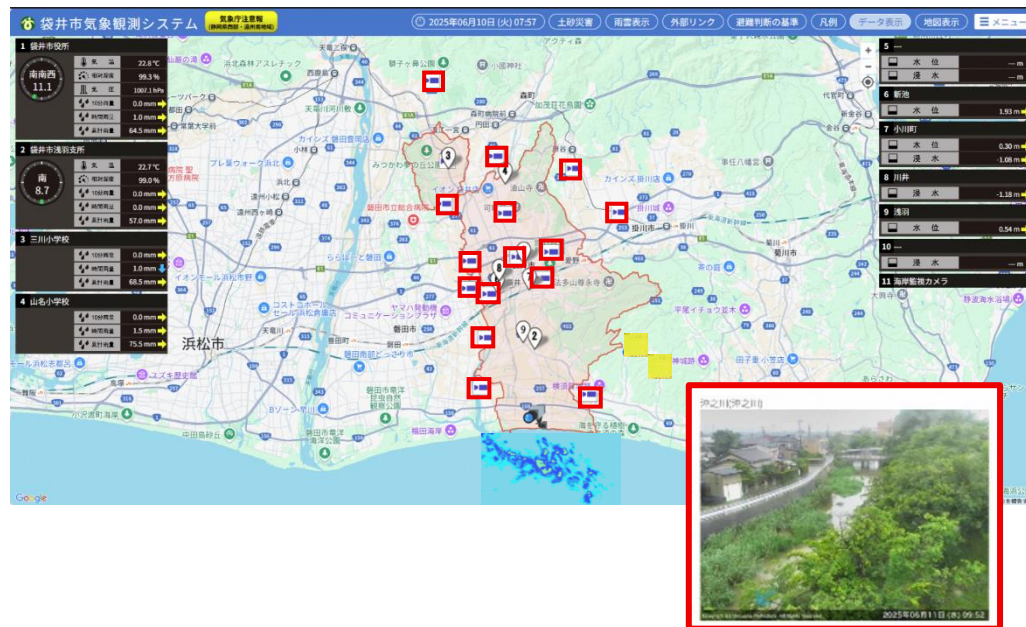
- ・ SNSを活用した防災情報の提供を継続的に実施した。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 引き続き、SNSによる防災情報の発信と袋井市気象観測システムを活用した河川監視カメラ映像の提供を行う。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ SNSによる防災情報の発信と袋井市気象観測システムを活用した河川監視カメラ映像提供を継続的に実施する。



③ - 8 地域防災力の強化

実施主体：袋井市（危機管理課）

《施策内容》

水防演習(訓練)を継続的に実施

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 水防（消防）団員に対し、水防工法の講習会などの座学訓練とともに、水防演習による土のう積工等を実施した。
- ・ 備蓄資材の拡充、水防倉庫の維持管理を継続的に実施した。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 水防(消防)団の訓練は計画的に実施しているが、地域住民と連携した訓練が行えていない。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 水防(消防)団の水防工法の講習会などの座学訓練を実施する。
- ・ 水防(消防)団の実務訓練は磐周支部で行い、広域的な対応に備える。
- ・ 関係市町や団体とともに行う水防訓練を実施する。



③ - 9 高台など安全な避難場所の確保

実施主体：袋井市（危機管理課）

《施策内容》

浸水から逃げるための避難場所の確保

■ 令和7年度までの進捗状況

- ・ 避難場所の確保を継続的に実施する。

■ 施策実施に係る課題と対応策

- ・ 必要に応じ地域と協議しながら避難場所の確保をしていく。
- ・ 地域と避難所候補となる地権者や企業などと連絡調整の実施。

■ 令和8年度の実施予定

- ・ 引き続き、避難場所の確保を継続的に実施する。

